

【2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会】

事前合宿（練習）の状況について

グアテマラ競歩選手団は、7月24日から7月31日の期間、事前合宿を行いましたので、その様子をお伝えします。

1. 練習方法

特段、説明はありませんが、練習を見ていると、以下のとおり練習したと思われます。練習方法は、コーチによって異なります。

グアテマラ競歩選手団には、**フリオ・ウリアス**さんと**マイノル・オルティス**さんの**2名**のコーチがいますので、**2チーム**に分かれて練習していました。

■フリオ チーム（4名の選手を指導しています）

ホセ・カレル選手（男子20km）、ホセ・バロンド選手（男子20km）、ルイス・サンチェス選手（男子50km）、マイラ・エレラ選手（女子20km）の4選手

■マイノル チーム（2名の選手を指導しています）

ウリエル・バロンド選手（男子50km）、ホセ・オルティス選手（男子20km）の2選手

2. 練習の状況

7/23（金）、グアテマラからメキシコ経由で5名、スペインからオランダ経由で5名が、成田国際空港で合流して、羽田空港から新千歳空港に降り立ち、恵庭市に到着したのは、20時過ぎでした。それからお出迎え式を行い、会議室でホテルでの生活上のルールを説明し、夕食を各部屋で召し上がっていただきました。15時間以上の長いフライトでお疲れでしたが、7/24（日）は、朝5時30分にホテルを出発して練習を開始しました。選手村に移動する7/31（土）の朝まで練習しました。

■7/24（土）

朝の練習は、6時頃より7時15分頃まで、島松川管理用道路で行い、午後の練習は、16時頃より1時間程度、農村部（林田と北島の境界）で行いました。



練習を開始する前に、全員でお祈りしていました。一番手前のモスグリーンのシャツの選手が、ホセ・オルティス選手で選手の中で一番若い感じがします。



移動日の翌日ということもあり、軽めに練習している感じでした。

一番右は、JICA から恵庭市に派遣されている職員（企画課）の杉本さんでスペイン語がペラペラです。

その左側で、水色のスマホを持っているのは、事務局のロサリオさんです。市の職員との調整窓口になっています。全体の統括役です。

その左側の帽子の選手が、50 k m 競歩のルイス選手です。髭を生やしている唯一の選手で、かなりの男前です。

その左側のオレンジ色のシャツの選手が、マイラ選手です。ママさんランナーでお子

さんがいらっしゃると聞いています。

その左側のマスクをしてペットボトルを左手に持っている男性は、理学療法士のセルビンさんです。本来は、選手が水分補給で止まらないように、コーチが選手の横で並走してペットボトルを渡して、飲み終わったら受け取っています。

この時は、たまたま、フリオコーチ（写真の左から2人目）がホセ・バロンド選手（写真の一番左）に並走していたので、セルビンさんがお手伝いしていると思われます。

■7/25（日）

朝の練習は、6時頃より7時45分頃まで島松川管理用道路で行いました。

この日の練習は、前日よりハードな練習で、午後は休養のため練習は休みでした。マイノルチームの3名は、ホテルの会議室でセルビンさん（理学療法士）に指導してもらいながら、ストレッチをしていました。



ホセ・カレル選手だと思います。ホセ・カレル選手とホセ・バロンド選手とウリエル・バロンド選手の3選手は、雰囲気がとてもよく似ています。



応援に来ていただいた市民の方から、手作りの応援の絵をいただきました。選手はとても喜んでいて、練習後に記念撮影を撮っていました。帰国する時に持って帰りたいそうです。

ちなみに、絵にかいてあるバモス（VAMOOS）は、「がんばれ」という意味です。

■7/26（月）

朝の練習は、6時頃より7時15分頃まで島松川管理用道路で行い、午後の練習は16時頃より1時間程度、農村部（林田と北島の境界）で行いました。午後の練習では、HTBさんが取材に来られました。



マイノルチームは、いつも、ウリエル選手とホセ・オルティス選手の2人が一緒にな

って黙々と歩き続けていますが、練習後半では、ウリエル選手が早いためか、ホセ・オルティス選手は徐々に離されていきますが、一生懸命なんとかついていこうとしています。この写真はウリエル選手の写真ですが、後から、ホセ・オルティス選手が来ると思われます。がんばれ、オルティス！



朝の練習では、フリオチームは、我々から少し離れたところで筋トレやストレッチを中心に練習していました。

少し離れているのは、ここが少し日陰になっているからと思われま

■7/27 (火)

朝の練習は、6時頃より7時50分頃まで島松川管理用道路で行い、午後の練習は16時頃より1時間程度、農村部（林田と北島の境界）で行いました。午後の練習では、HBCさんとイーニワさんが取材に来られました。



朝は、ハードなトレーニングをしていました。フリオチーム（ルイス選手以外の 20 km 競歩の 3 名の選手）は比較的短い距離でインターバルトレーニングをしていました。スピードの練習と思われます。腕時計式のストップウォッチで時間を計っており、「5 分程度歩いて数十秒休んで、また、5 分程度歩いて・・・」というような練習を繰り返していました。一方で、ルイス選手とマイノルチームの 2 選手は、ずっと歩き続けていました



■7/28（水）

朝の練習は、6 時頃より 7 時 50 分頃まで島松川管理用道路で行いました。
午後は、農村部（林田と北島の境界）で練習しました。



天気の良いが続いていますが、この日は特に暑く感じました。この日の練習は、かなりハードで、練習直後に、理学療法士のセルビンさんが、氷5kgをクーラーボックスに用意し、氷をたっぷり入れたビニール袋で選手の足を冷やしていました。

今日は、10時頃より、セルビンさんが、希望する選手に、バスタブに氷水を入れて、体を冷やすようなことを行うそうです。そのため、ホテルの方をお願いして、氷40kg準備しました。

この写真は、ウリエル選手です。



左の黒い服を着た選手が、ルイス選手で、右の選手が、マイラ選手です。

■7/29（木）

朝の練習は、6時頃より7時30分頃まで島松川管理用道路で行い、午後の練習は16時頃より、農村部（林田と北島の境界）で行いました。



練習開始前の、準備の様子です。



右の黄色いシャツの選手がホセ・オルティス選手で、その左の選手がウリエル・パロンド選手です。マイノルチームは、いつも黙々と歩いていますが、今日は、たまに話

をしながら歩く姿も見受けられ、リラックスした雰囲気調整していました。



朝の練習が終わり、バスでホテルに到着した後、会議室に全員直行していただき、毎日 PCR 検査を実施しました。机に名札を置いて指定席としています。各選手には指定席に座って PCR 検査を行っていただき、それを市職員が確認しました。テーブルには、PCR 検査キットの他、各自の部屋の鍵や、本日の部屋の掃除の希望を書く用紙が置いてあり、記入してもらいました。

PCR 検査が終わると、各自部屋に戻りましたが、この間に、他の市職員が部屋に朝食を配膳しました。

■7/30 (金)

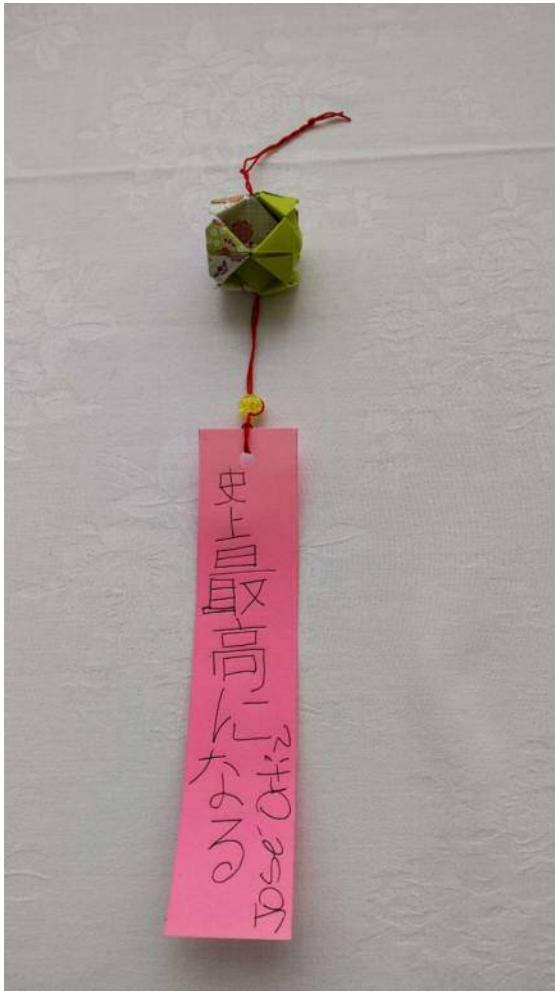
朝の練習は、6 時頃より 7 時 40 分頃まで島松川管理用道路で行い、午後の練習は 16 時頃より、農村部 (林田と北島の境界) で行う予定です。少し霧雨が降っていました。



黒いシャツがルイス・サンチェス選手。ピンクっぽいシャツが、マイラ・エレラ選手です。いつも一緒に練習しているなあと思っていましたが、どうも、兄弟だそうで、お姉さんと弟です。



フリオチームは、南部橋でストレッチ的な運動を繰り返していました。今日は、軽い練習メニューです。



PCR 検査の後、各選手にお願いして短冊に願いを記載していただきましたが、1名だけ、願い事を日本語で書いていた選手がいました。ホセ・オルティス選手です。名前の書き方などは前日に職員に聞いていたそうですが、この文章は誰も教えていないそうです。びっくりです。日本に興味を持っていただけたこともうれしいでき事でした。

参考) 練習場所

- (1) 島松川沿いの管理道路 (道道江別恵庭線から広恵橋まで)
朝の練習で使用しました。



- (2) 農村部 (林田と北島の境界)
西4線南9号交差点から西4線排水機場までの直線道路
夕方の練習で使用しました。

